

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名：一般国道435号 美祢～豊田バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：山口県						
起終点：自：山口県美祢市麻生 至：山口県下関市豊田町八道	延長：5.4km							
事業概要 一般国道435号は、山口県山口市を起点とし、下関市豊北町に至る延長約7.5kmの幹線道路である。美祢～豊田バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的としている。								
H 6年度事業化	都市計画決定なし	H 7年度用地着手						
H 7年度工事着手								
全体事業費：約8.3億円	事業進捗率：6.8%	供用済延長：2.6km						
計画交通量：4000台/日								
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.6 (残事業) 1.2	総費用：(残事業)/(事業全体) 24/104億円 (事業費：23/102億円 維持管理費：1.1/2.0億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 28/163億円 (走行時間短縮便益：27/138億円 走行費用減少便益：0.30/21億円 交通事故減少便益：0.78/3.5億円)	基準年：平成20年				
感度分析の結果 交通量変動：B/C=1.3(+10%) B/C=1.1(-10%) 事業費変動：B/C=1.1(+10%) B/C=1.3(-10%)								
事業の効果等 ・緊急輸送道路の確保（防災総点検要対策箇所17箇所の解消） ・人身事故率の改善（934人/億台キロ：県平均63人/億台キロ）								
関係する地方公共団体等の意見 現状は幅員狭小で大型車の離合が困難な状況であり、交通安全の危険性が高く、早期事業の完成が望まれる。								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業区間に隣接して、平成18年度に公的機関である美祢社会復帰促進センターがオープンし、アクセス強化を求められる。								
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度までに2.6kmを供用しており、引き続き残り2.8kmの整備を行う。								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地買収及び工事を推進し、平成20年代後半の全線供用を図る。								
施設の構造や工法の変更等 特になし。								
対応方針	事業継続							
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。							
事業概要図 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 凡例 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table> </div> </div>				供用中		再評価箇所		うち供用中
	供用中							
	再評価箇所							
	うち供用中							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。